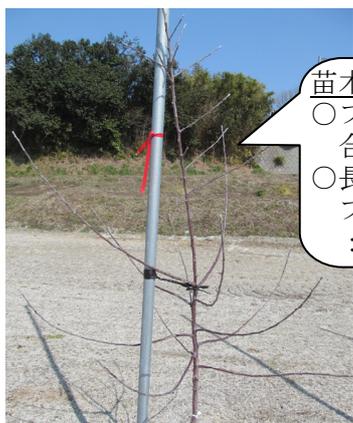




早期結実が可能なりんごのポット養成フェザー苗の育成法

【1 成果の内容】

- (1) JM7 台木の1年生苗木を不織布ポットに移植し、新梢伸長期からベンジルアミノプリン液剤を散布することにより、定植当年から結実可能なフェザーが多数発生した2年生苗木が育成できます(図1、図2、図3)。
- (2) ベンジルアミノプリン液剤の処理濃度は、「ふじ」「もりのかがやき」「はるか」では100倍、「紅ロマン」「きおう」「紅いわて」「シナノゴールド」「大夢」では50倍とします。



苗木の育成目標
 ○フェザーの
 合計本数：15本
 ○長さ5～50cmの
 フェザーの本数
 ：10本



10a 当たり収量は、シナノゴールドで、**137kg!**

図1 フェザーが多発した苗木(品種:ふじ)

図2 ポット養成フェザー苗定植当年の結実状況

発芽前		展葉期	新梢伸長期	
<p>【ポット養成】 1年生苗木を不織布ポットに移植します。</p>	<p>【切り返し】 接木部から40cm程度の高さとしします。</p>	<p>【芽かき】 先端の生育良好な1芽を残します。</p>	<p>【ベンジルアミノプリン液剤の散布】 主幹延長枝が20cm程度となった頃から開始し、10～15日間隔で、合計8～9回散布します。</p>	

1回目は主幹延長枝全体に散布

2回目以降は新たに伸長した部分に散布

図3 ポット養成フェザー苗の具体的な育成方法

【2 留意事項】

- (1) 苗木の生育が劣る場合は、十分なフェザーが確保できないことがあるので、使用する1年生苗木は、生育良好なものを選択します。特に7月は生育が停滞しやすいので、乾燥時のかん水や定期的な除草を励行することが重要です。
- (2) 主幹延長枝の先端を害虫に食害されると苗木の生育に悪影響を及ぼすので、新梢伸長期には定期的に殺虫剤を散布します。
- (3) 苗木には添え木等をして苗木主幹と主幹延長枝を垂直に誘引します。